

# 健康福祉委員会資料

## (健康福祉局関係)

### 2 所管事務の調査（報告）

#### (1) 新型コロナウイルス感染症対策（検査体制と医療提供体制）について

##### 資料1 新型コロナウイルス感染症対策（検査体制と医療提供体制） について

令和2年8月28日

健康福祉局

## 新型コロナウイルス感染症対策（検査体制と医療提供体制）について

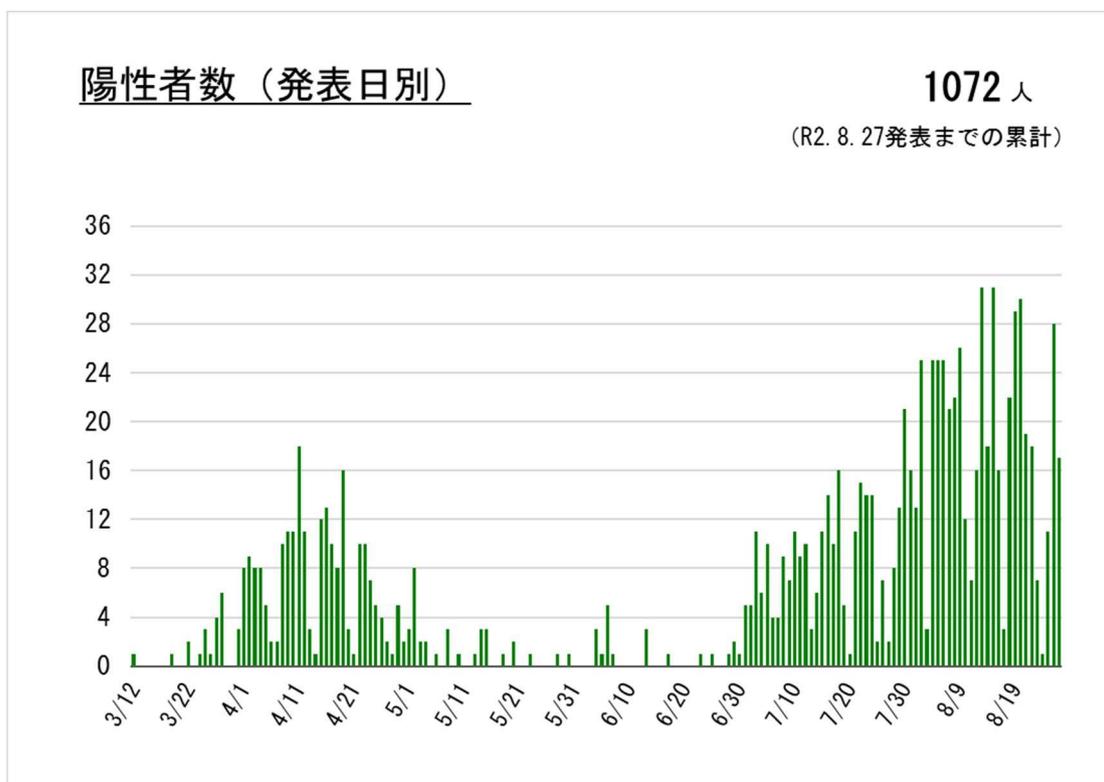
## 1 現状

## (1) 陽性者の状況（8月27日現在）

8月27日発表までの累計陽性者数は1,072人で、うち死亡者数は31人となっている。

1日あたりの陽性者数は3月下旬頃から増加し始めて、4月11日に18人となったが、4月下旬頃から減少傾向となり、5月3日から6月30日までの約2か月間は概ね5人を下回って推移していた。しかし、7月に入ると再び増加傾向となり、最多陽性者数は8月13日及び15日の31人となっている。

## 【発表日別・年代別・居住地別の陽性者数】



## (2) 新型コロナウイルス感染症モニタリング状況（8月25日現在）

6月9日〔集計期間：6月1日（月）～6月7日（日）〕以降、週1回、神奈川警戒アラートの指標等に従った項目を選び、モニタリング状況と評価を公表している。

令和2年8月25日  
健康福祉局

### 新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況

#### 1 モニタリング状況（参考数値）

集計期間：令和2年8月17日（月）～令和2年8月23日（日）

	指標	数値	前週	目安基準
(1)	直近1週間の新規陽性者数	126人	122人	—
(2)	直近1週間の人口10万人当たりの累積新規陽性者数 (陽性者数/(153万人/10万人))	8.24人	7.97人	2.5人未満 <sup>※1</sup>
(3)	週当たりの陽性者増加比 (当該週の陽性者数/前週の陽性者数)	1.03	0.79	<1 <sup>※2</sup>
(4)	直近1週間の感染経路不明者の割合 (感染経路不明者数/陽性者数)	48%	49%	50%未満 <sup>※3</sup>
(5)	市内医療機関における入院中の患者数 <sup>※4</sup>	53人	60人	—
(6)	直近1週間の陽性率 <sup>※5</sup> (陽性者数/検査実施人数)	6.60%	7.30%	—

これらの数値は、速報値として公表するものです。

- ※1 神奈川県警戒アラート指標の基準を準用
- ※2 新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「緊急事態措置の解除の考え方」）より引用
- ※3 神奈川県の再警戒モニタリング指標の基準を準用  
(再警戒基準：新規陽性者数が10人以上の時、50%以上)
- ※4 8月23日(日)現在の入院者数（前週分は、8月16日(日)現在の入院者数）
- ※5 健康安全研究所及び民間検査機関による検査実績から算出（本市発表外陽性者も含む）

#### 2 評価

令和2年8月17日（月）～8月23日（日）の市内における新規陽性者数は、126人（前々々週99人、前々週155人、前週122人）と、前週に比べると4人増となっていますが、前々週と比較し減少傾向にあると言えます。(2)人口10万人あたりの累積新規陽性者数及び(3)陽性者増加比は、前週をやや上回り、目安基準もまだ上回っています。(4)感染経路不明者の割合については、先週をやや下回り、目安基準も下回っています。(5)入院中患者数と(6)PCR検査等の検査陽性率も、前週を下回っています。

全体的には先週あたりから増加傾向が止まり、停滞しているような状況です。東京都及び関東首都圏、関西方面、沖縄県なども増加傾向が留まり、若干減少傾向が見えてきていますが、本市はそれを追いかけているような状況です。しかし入院中の患者さんの中には重症の方もおられます。できるだけ感染の広がりを少なくして、一人でも重症になる方を少なくするよう、御協力をよろしくお願いいたします。

これまでのところ、一般の方の感染の多くは、広い空間や街の中などではなく、空気の流れの悪い、狭いところで大人数が一緒になって、大声で話をしたり、歌ったり、接触をしたりという状況で生じています。つまり感染の多くは、「三密」の状態が生じています。できるだけこのような状況避けることは、感染するリスク、感染を広げるリスクを下げることになるので、これらの注意をしながら、日常生活を過ごしていただければと思います。なお、これまで同様、三密が避けられているような所、特に戸外や風通しの良い所で、人と人の間隔が十分あいているような所では、マスクを外し、良い空気を吸うことも健康のために大切です。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言（8月7日）で示された指標及び目安からみた川崎市の状況（参考）

ア 川崎市における目安

	医療提供体制等の負荷			②全療養者数	③PCR陽性率	感染の状況		
	①病床のひっ迫具合					④新規報告数	⑤直近一週間と先週一週間の比較	⑥感染経路不明率
	病床全体 (陽性のみ)	病床全体 (疑い含む)	重症病床					
市内最大確保病床数 (=準備病床数)	219床	270床	28床					
<b>ステージⅢ (感染者急増)</b>	確保病床数の1/5= 44	確保病床数の1/5= 54	確保病床数の1/5= 6	15人/10万= 225	10%	15人/10万/週 (32人/日ベース)	今週の新規>先週	50%
<b>ステージⅣ (爆発的な感染拡大)</b>	確保病床数の1/2= 110	確保病床数の1/2= 135	確保病床数の1/2= 14	25人/10万= 375	10%	25人/10万/週 (54人/日ベース)	今週の新規>先週	50%

イ 川崎市の状況

8月27日時点	34	59	6	191	6.6%	8.24人 (18.0人/日ベース)	今週>先週 (1.03倍)	48%
---------	----	----	---	-----	------	-----------------------	------------------	-----

## 2 検査体制等

### (1) 相談体制

#### ア 新型コロナウイルス感染症コールセンター

新型コロナウイルス感染症に関する一般的な質問・相談を受け付け、市民の不安解消等を図るために2月20日に設置し、順次受付時間を拡大し、5月1日以降は24時間対応としている。

相談件数は、2月から4月にかけて増加し、5月から6月にかけてやや減少したが、7月以降再び増加している。

#### <受付時間>

- ・ 2月20日から3月6日 8時30分～17時15分(平日)
- ・ 3月7日から4月15日 8時30分～17時15分(土日休日含む)
- ・ 4月16日から4月30日 8時30分～21時(土日休日含む)
- ・ 5月1日から 24時間対応

#### <相談件数>

(単位：件)

2月 (2/20～)	3月	4月	5月	6月	7月	8月 (～8/26)	合計
261	2,149	5,971	4,454	3,943	8,536	6,068	31,382

#### イ 帰国者・接触者相談センター

発熱、呼吸器症状などがある方で、新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合に、「帰国者・接触者外来設置医療機関」を適切に受診できるよう、2月10日に各区に専用の電話回線を設置した。5月1日以降は土日休日を含む対応とし、時間を21時まで延長して対応している。時間外においては、(ア)のコールセンターに転送し、コールセンターで対応しきれない案件は職員へ取次ぎ対応している。

相談件数は、2月から4月にかけて増加し、5月から6月にかけてやや減少したが、7月以降再び増加している。

#### <受付時間>

- ・ 2月10日から4月30日 8時30分～17時15分(平日)
- ・ 5月1日から 8時30分～21時(土日休日含む)

#### <相談件数>

(単位：件)

2月 (2/10～)	3月	4月	5月	6月	7月	8月 (～8/26)	合計
1,193	3,455	8,080	3,159	1,617	4,470	3,187	25,161

## (2) 検体採取

### ア PCR集合検査場

検査体制の拡充を目的として、市内の病院や診療所の医師が検体採取を行うPCR集合検査場を市内3か所（5月11日に2か所、5月12日に1か所）に設置し、川崎市医師会に運営を委託して実施している。

現在、開設時間は13時から15時で、2か所が週3日、1か所が週4日運営しており、完全予約制で実施している。採取した検体の検査は民間検査機関に委託している。これまで1日当たり最大で24検体（7月27日）の採取が実施されている。

<検体採取数> (単位：件)

1月	2月	3月	4月	5月 (5/11~)	6月	7月	8月 (~8/26)	合計
-	-	-	-	83	104	317	238	742

### イ 帰国者・接触者外来及び帰国者・接触者外来と同様の機能を有する医療機関

帰国者・接触者外来は、帰国者・接触者相談センターから紹介のあった新型コロナウイルス感染症疑い患者を適切に診察するために設置する医療機関であって、PCR検査等のための検体採取等を行う。（8月26日現在：17病院）

また、市と行政検査の委託契約を締結した各医療機関が民間検査機関に委託し、検査を実施している。（8月26日時点で42医療機関（9病院、33診療所））

検体採取数は、2月から6月にかけて徐々に増加し、7月以降大きく増加している。これまで1日当たり最大で459検体（8月4日）の採取が実施されている。

<検体採取数（陰性確認含む）> (単位：件)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 (~8/26)	合計
3	72	354	2,233	2,218	2,470	6,232	6,848	20,430

### ウ その他

学校や保育所、高齢者施設などで陽性者が確認された場合の濃厚接触者等の検体採取は、学校医や施設嘱託医等とも連携を図りながら、主に行政医師が行っている。これまで1日当たり最大で93検体（8月15日）の採取を実施している。

<検体採取数（陰性確認含む）> (単位：件)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 (~8/26)	合計
0	0	0	54	24	4	454	892	1,428

### (3) 検体検査

#### ア 健康安全研究所による検査（PCR検査）

リアルタイムPCR検査機器4台（うち1台を老朽化のため更新予定）を新型コロナウイルス感染症検査用とし、1日当たり約100検体の検査を継続して実施できる体制を確保している。必要に応じ検査数を増やすことにより、これまで1日当たり最大で221検体（7月21日）の検査を実施している。

##### <検査実績（陰性確認含む）>

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 (~8/26)	合計
検査件数	3	72	353	1,979	1,423	811	2,600	2,495	9,736
検査人数	1	65	310	1,937	1,414	807	2,599	2,495	9,628

#### イ 民間検査機関による検査

これまで1日当たり最大で374検体（8月17日）の検査が実施されている。

##### (ア) PCR検査

##### <検査実績（陰性確認含む）>

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 (~8/26)	合計
検査件数	0	0	1	308	821	1,111	3,087	4,230	9,558
検査人数	0	0	1	308	821	1,111	3,087	4,229	9,557

##### (イ) 抗原検査

5月13日に保険適用となって以降、増加している。

##### <検査実績（陰性確認含む）>

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 (~8/26)	合計
検査件数		-	-	-	81	656	1,316	1,253	3,306
検査人数		-	-	-	81	656	1,315	1,253	3,305

### (4) 搬送支援

感染の疑いのある方及び患者のうち、医療機関までの移動手段が確保できない方々を対象として、5月11日から、専用車両2台体制で民間事業者への委託により搬送を実施している。

7月以降の感染者の増加に伴う搬送ニーズの増加に対応するため、8月以降、車両を1台増やし3台体制で対応にあたっている。さらに、8月23日(日)以降、日曜・休日も含め毎日運行することとした。

##### <搬送実績>

	5月 (5/11~)	6月	7月	8月 (~8/26)	合計
搬送件数(件)	24	34	93	92	243
運行日数(日)	18	26	25	22	91
1日平均(件)	1.33	1.31	3.72	4.18	2.67

#### 4 医療提供体制

##### (1) 本市の神奈川モデル認定医療機関における病床機能別の確保状況

病院機能	主な対象	4/14時点		5/27時点		8/1時点	
		施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数
高度医療機関	重症者	2	20	2	25	2	28
		市立川崎+民間		市立川崎+民間		市立川崎+民間	
重点医療機関	中等症者	3	170	7	264	6	191
		市立井田・多摩+民間1		市立川崎・井田・多摩+民間4		市立川崎・井田・多摩+民間3	
重点医療機関 協力病院	疑似症者			4	45	5	51
				民間4		民間5	
合計		5	190	13	334	13	270
				(実病院数9) <sup>※1</sup>		(実病院数9) <sup>※1</sup>	

※1 病院機能が重複している病院があるため

※2 通常の地域医療との均衡を図りながら、感染状況に応じて、実際に稼働させる病床数は変動する。

##### (2) 市内病院における入院状況の推移<sup>※1</sup>

	7/1 (水)	8/5 (水)	8/19 (水)	8/26 (水)	(参考)最大 入院者数 5/3
入院者数 (陽性確定者)	6 (2)	33 (3)	35 (6)	37 (5)	55 (13)
入院者数 (疑似症者)	26 (2)	23 (1)	21 (4)	22 (1)	32 (5)
入院者数 計	32 (4)	56 (4)	56 (10)	59 (6)	87 (18)
<sup>※2</sup> 即応(稼働)病床数	54 (6)	71 (6)	77 (11)	81 (9)	106 (22)

※1 (カッコ) は、うち重症者の数

※2 即応病床：受入要請があれば、いつでも即時受入れ可能な病床(国定義)

##### (3) 今後の病床確保・稼働の方向性

限りある医療資源(病床、医療従事者、資器材等)を最適に配分し、通常の地域医療とコロナ医療を両立させることが大前提となる。

したがって、感染の拡大・収束状況に応じて、コロナ対応に投入する医療資源を拡大・縮小させていく。

※病床コントロールについては、県調整本部と連携しながら本市医療調整本部において、市内病院と随時調整中

#### (4) 宿泊療養施設等の状況

無症状、軽症の方は、宿泊施設ないし自宅で療養しており、8月27日現在の川崎市在住の宿泊療養者は48人、自宅療養者は111人で、体調に変化がみられた際には入院調整等を行っている。

神奈川県内の宿泊療養施設は、湘南国際村センター（95室）、アパホテル〔横浜関内〕（451室）、横浜市宿泊療養施設（163室）、相模原宿泊療養施設（40室）の合計749室。（8月27日現在）